



野木町立南赤塚小学校

けやき

令和8年4月号



令和8年度がスタートしました。今年度、本校は、創立150年を迎えました。歴史と伝統ある本校の校風を次世代に引き継げるよう、また、主役である児童たちを輝かせるため、教職員一丸となって精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も多数の教職員の転退職及び転入がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。退職及び転出した先生方、大変お世話になりました。そして、新しく転入した8名を含め、教職員45名で令和8年度がスタートしました。

(敬称略)

転 退 出			転 入		
職 名	氏 名	備 考	職 名	氏 名	備 考
教 諭		退職	教 諭		栃・静和小学校より
教 諭		小・間々田小学校へ	教 諭		栃・大平中央小学校より
教 諭		下都賀教育事務所へ	教 諭		壬・壬生東小学校より
養護教諭		栃・部屋小学校へ	教 諭		新規採用
講 師		栃・千塚小学校へ	養護教諭		友沼小学校より
講 師		退職	図書司書		野木中学校より
図書司書		退職	補助事務員		新規採用
補助事務員		退職	教員業務支援員		新規採用
教員業務支援員		新橋小学校へ			

※育休中で休んでいた
教諭が復帰しました。

進級おめでとうございます



令和8年度南赤塚小学校の新学期が始まりました。今年度は、新1年生も合わせ、全校児童数388名、18学級でのスタートとなりました。新年度の新たな出会い、また、環境の変化が、子どもたちをさらに成長させてくれるものと期待しています。

始業式では、赤小がもっといい学校になるように、また、全児童一人一人がさらによりよくなるよう、私から二つお願いをしました。それは、去年の6年生から学んだこととして、「新しいことに挑戦しよう」、「何でもがんばり（努力し）ましよう」ということです。

一般的に子どもたちの中に、「できないことはやらない」、「失敗することがはずかしい」といった風潮があるような気がします。これも、時代の影響なのでしょうか。これからの何が起こるか分からない時代を生き抜くためにも、赤小の子たちには、どんどん新しいことに挑戦し、たくさん失敗する、そして、何でもがんばるといった経験を積み重ね、たくましく成長してほしいと考えます。



令和8年度 校務分掌 並びに 学級担任一覧（◎：学年主任）

分 掌	氏 名	分 掌	氏 名	学 級	氏 名	学 級	氏 名
校 長		用務員		1-1◎		6-2◎	
教 頭		県支援員		1-2		6-3	
教務主任		県支援員		2-1◎		なかよし1◎	
事務長		町支援員		2-2		なかよし2	
学習指導主任		町支援員		3-1◎		ひまわり1	
児童指導主任		補助事務員		3-2		ひまわり2	
学力向上指導		図書館司書		4-1◎		ひまわり3	
保健主事		業務支援員		4-2		ことばの教室	
養護教諭		スクールカウンセラー		5-1◎		ことばの教室	
特支援コーディネーター		SSW		5-2		オープン教室	
学力向上リーダー		ALT		6-1			
英語力向上リーダー		ALT					

※逆井教諭が産休に入り、後任として、
講師が赴任しました。

ご入学おめでとうございます



4月10日、入学式を挙行了しました。今年度の新生は61名。2クラス編成です。

新生から、緊張の中にも新しい学校生活に対する期待が感じ取れ、担任の呼名に対し、みんな元気よく返事ができました。

新生のお子さんたちは、入学の喜びや期待とともに不安もあることと思います。一日も早く学校に慣れ、笑顔あふれる毎日を送れるよう、教職員一同取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

創立150周年記念式典



本校は、創立150年を迎えました。昨年のうちから、「創立150周年企画実行委員会」を立ち上げ、関係者の皆様のお力添えをいただきながら記念式典等の内容を検討しています。今のところ式典は、11月14日（土）を予定しております。今後、詳細が決まり次第お知らせいたします。

お願い



昨年度もお示ししましたが、今年度も記します。時代が変化し、様々なもの、ことが変化していますが、子どもたちをよりよく成長させるための秘訣は昔から変わらないと考えます。それは、学校と家庭がスクラムを組み、地域の力を借りながら子どもを育てていくことです。つまり、保護者お一人お一人のお力が必要です。ぜひ、みんなで協力しながら、赤小の子どもたちを育てていきましょう。ご理解・ご支援をお願いします。

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子どもたちのために学校をよくしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子どもたちが自己実現や地域貢献など、志を果たしてける未来こそ、これからの未来の姿である。

中央教育審議会

「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の

連携・協働の在り方と今後の推進方策について」（2015）の「おわりに」

